

* 安房高等女学校木造校舎を愛する会 *

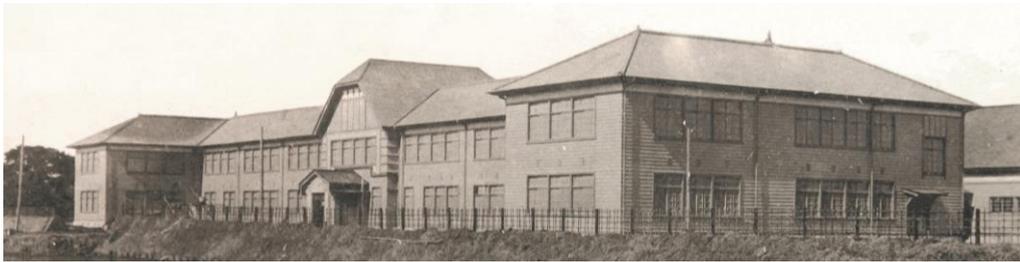
関東大震災から7年後の1930（昭和5）年、千葉県立安房高等女学校の木造校舎が新たに建てられました。大きく羽を広げた白鳥のように左右対称の美しい外観で、各所にきめ細やかな設計配慮が見られます。女子教育としては千葉県内2番目の由緒を誇り、戦後には安房女子高校・安房第二高校・安房南高校と名称を変えながら、多くの卒業生を輩出してきました。

1980年代に次々と校舎の建て直しが進むなか、安房南高校の中村浩校長（当時）が保存を英断した木造校舎は、1995（平成7）年に県指定有形文化財となりました。しかし創立100年を迎えた2008（平成20）年、安房高校との統廃合により歴史の幕を閉じました。

その後10年を経て、ほぼ使われていなかった木造校舎の老朽化を心配した市民有志により、2017（平成29）年秋に「安房高等女学校木造校舎を愛する会」が発足しました。千葉県教育委員会と安房高校の許可を得て、草刈りや掃除などを随時おこなってきました。2018（平成30）年の公開事業は、事務局を担うNPO法人安房文化遺産フォーラムが事業委託を受け、愛する会の協力により見学会を企画運営しています。

木造校舎の魅力を多くの皆さんと共有し、忘れられつつある歴史をひもといて調査・記録しながら磨きをかけ、永続的な保存活用を目ざしていきたいと願っています。

会員には年2回会報を送ります。年会費1,000円、ゆうちょ銀行00270-4-87431
名義：安房高等女学校木造校舎を愛する会



昭和初期の安房高等女学校（小笠原写真館撮影：安房高校所蔵）

【オプション企画】

ミニ講座&証言の会

会場：旧安房南高校木造校舎
主催：NPO法人安房文化遺産フォーラム
安房高等女学校木造校舎を愛する会

2018
10/28
13:30~15:00
(日)

校舎に残る貴重な資料から、歴史の調査研究を進めています。

たとえば戦時下には館山病院で看護の勉強をして、沖縄の「ひめゆり部隊」のように、安房高女でも準備が進められていたようです。明らかになってきた安房高女から新制高校の歴史を聞き、卒業生の皆さんは思い出話を語り合しましょう。また、懐かしい昔の写真や記録をお持ちの方はぜひご持参のうえ、皆さんお誘い合わせてご来場ください。 ※なるべくスリッパをご持参ください。